

たかやま

令和3年度 第9号

発行日：R4.1.18

発行元：高山小学校

文責：校長 山中容子

謹んで 初春のお慶びを 申し上げます

新しい年を迎え、新しい気持ちで今年の抱負を考えました。高山小学校は、日頃より保護者様、地域の皆様の温かいご支援をいただいています。今年は、これまで以上に、高山っ子から自分たちが頑張っていることをどんどん、発信していこうと思います。まず、三月にある大田市教育月間には、ぎんざんテレビで中学年は環境問題について学習したこと、高学年がみどりの道についての環境保全活動について発表する機会を得ました。また、低学年は、市立図書館の発表の中で、高山小学校が見学に行った時の様子が紹介されます。また、山陰中央新報の毎週水曜日に発行される子ども新聞で三月に学校紹介されることになりました。このように、地域のみならず、市内、県内に発信していける高山っ子にしたいと思います。

一月十一日の始業式の日には、寒さに震えながらも全員元気に、笑顔で登校して来ました。我々教職員一同も、高山っ子の笑顔を見て、安堵すると共に三学期を清々しい気持ちでスタートすることができました。始業式では、寅年にちなんで、「笑顔（ガオー）で、どんどん トライ（挑戦）しよう！」という合言葉を提示しました。今年も、元氣いっぱい高山小学校を目指して、邁進していきます。応援、よろしく願っています。

たかやま大すき 高山っ子

収穫祭（低学年・中学年）

低学年は、冬野菜の白菜と大根も収穫し、十二月十四日に、ミニ収穫祭をしました。ふろふき大根を作って、全校のみんなに振舞ってくれました。坂本先生には収穫したいものをプレゼントし、野菜作りの事を発表したりダンスを披露したりして楽しい収穫祭になりました。



中学年は、隔年で、大豆と小豆を育てています。今年度は、小豆を育てました。廣山先生に植え付けから収穫までお世話になりました。十二月十五日の収穫祭では、小豆を使って、ぜんざい（団子もつくりました）を作りました。少し、虫が食べたり欠けていたりする小豆もよく煮て、漉しあんにして汁にいれました。捨てることなく、収穫した小豆をふんだんに使い、おいしいぜんざいができました。

高山小学校では、それぞれの学年で農作物を育て、収穫し、ミニ収穫祭をしています。少人数ならではの体験学習です。



かしこくすすんで学ぶ 高山っ子

算数研究授業（高学年）

一月十七日、五・六年生の算数「割合」の研究授業がありました。今回は、現行の学習指導要領の編纂にも携わってこられた島根県立大学人間文化学部の齊藤一弥教授をお招きし、指導助言をいただきました。残念ながらコロナ感染症対策ということで参加人数を絞って、寒い中でしたが、体育館で行いました。令和四年度は、大田市教育研究大会が七月一日に第三中学校区と三瓶周辺の学校で開催されます。その大会に向けても、教職員の研修の場を設定できたことを嬉しく思います。

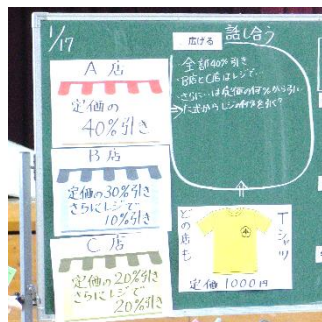
今回の授業は、五年生は、「先生が作ったぶどうジュースと同じ味のジュースを作るには？」という学習でした。ぶどうジュースの全体量と原液の割合だけが先生から示されました。それが分かれば、計算して作れるよというわけです。五年生は、自分たちで解決しようがんばり、最後にはおいしいジュースができました。

六年生は、六年間の学習は既に終わっていて、割合の復習問題に取り組みました。洋服の割引の問題でした。A店は定価の四十％引き、B店は定価



の三十％引きの上、レジにてその十％引き、C店は定価の二十％引きの上レジにてその二十％引き、どの店が一番安いでしょうか？という問題でした。セール時に、このような表示を見る事がありますよね。実生活に生かせる学習になればと考えました。どの店も四十％引きのように思ったけど、もとにする量が変わってくるから代金も違うんだと結論が出ました。これからも主体的に学習に取り組める高山っ子の育成を目指して、教職員研修を積んでいきます。

体育館での授業風景



まいにち元気でたくましい高山っ子

なわとび、がんばります！（全校）

一人一人が体力向上と技術の向上を図るため「やる気まんまんなわとびカード」を用意し、全校でなわとびに取り組みます。冬の体力づくりには最適ななわとびです。二月十五日には、なわとび集会を開催します。